

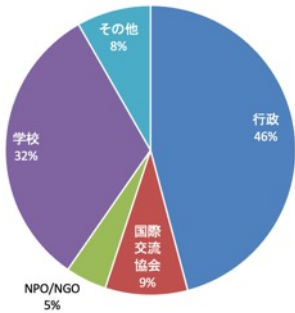
研修・ コンサルティング事業

各地での多文化共生への基礎理解や、テーマ別に具体的な実践事例の紹介、今後の取組みについて考える場づくり等をサポートする。



【主な講演テーマ】

- ・多文化共生とは
- ・やさしい日本語
- ・災害時対応
- ・地域日本語教育
- ・外国人と人権
- ・発達障害支援



【実績】

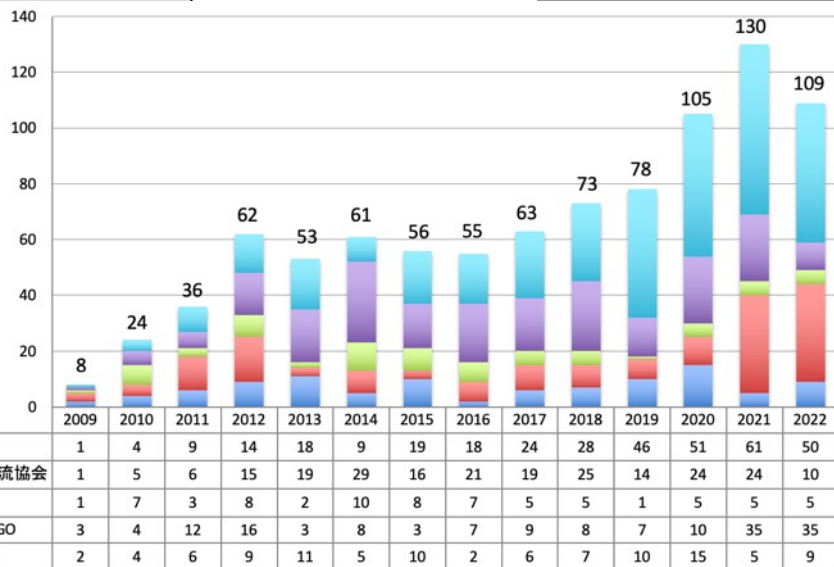
109件

行政 50件
国際交流協会 10件
学校 5件
NPO/NGO 35件
その他 9件

【参加者の声】

どうしても先入観から、外国人は日本の仕組みをわからない厄介者だと思いがちですが、外国人も住みやすい町が、結果、多様性を受け入れ高齢者、障がい者等が住みやすい町になるのだと感じました。

文化の違いを理解し合うことは大変難しいと思います。特に、言葉の壁は非常に高く、お互いの理解につながらないことは悲しいことだと思います。しかしながら、その違いを認め合いながら声をかけあい、そこから生まれるネットワークが構築できれば、豊かな地域社会につながると思います。まずはお互いを知ることができる「場」づくりが求められていると思いました。

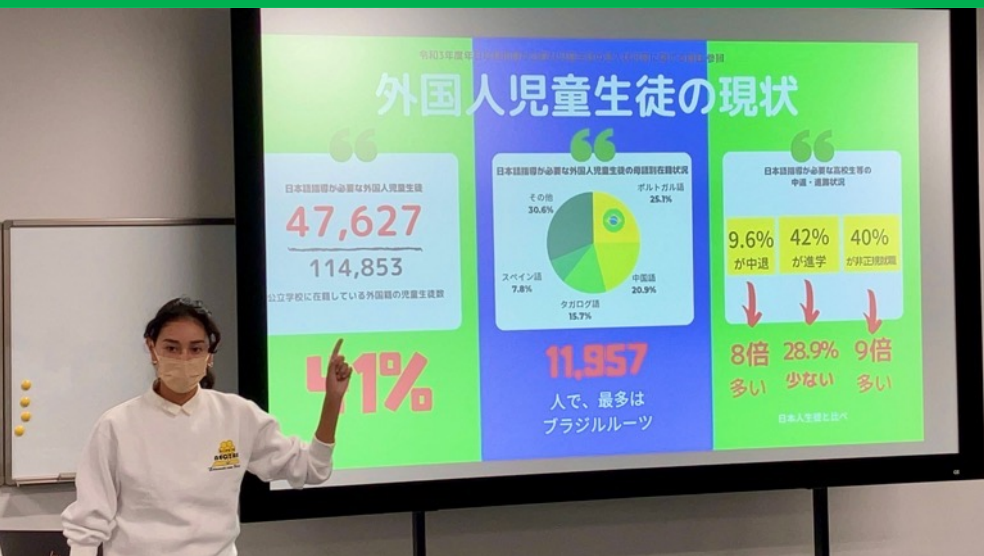


土井佳彦

年度後半からは対面研修が増えたこともあり、対応件数自体は昨年度より少なくなっています。その一方で、コロナ禍における入国制限が撤廃され、外国人住民数が右肩上がりになっていることから、新たに外国人受け入れに関する体制整備の充実の必要性を感じる方が多くなったように思います。国際交流協会よりも自治体からのご依頼やご相談が増えたことから、今後は今まで以上に公的な支援の充実を期待したいと思います。

ブラジル学校におけるキャリア形成に向けた日本語教育普及プロジェクト

(文化庁委託事業)



【事業内容】

1. 卒業後のキャリア形成に向けた日本語教育プログラム
→ 期間: 7/1~1/31(7か月)、時間: 104時間、対象: 高校生11名
2. 在日ブラジル学校と地域社会とのネットワーク構築プロジェクト
→ 愛知県、豊田市、愛知県経営者協会、愛知県立大学と意見交換
3. 在日ブラジル学校における日本語教育を考えるオンラインセミナー
→ ①対面(ポルトガル語) 8名、②オンライン(日本語) 86名+録画再生回数97
4. 在日ブラジル学校における日本語教育担当者のためのオンライン研修
→ コンテンツ数 3つ (再生回数①72回、②101回、③11回)



土井佳彦

昨年度より、愛知県豊田市にあるブラジル学校「エスコラ・ネクター」における日本語教育の充実をお手伝いしています。今年度も文化庁からの委託を受け、プロの日本語教師を3名派遣し、毎週4コマ以上の日本語の授業を実施しています。

また、キャリア教育の一環として名古屋外国語大学と日本福祉大学を訪問し、大学生と交流したり、地域の自治体や企業、大学関係者と今後の連携協力のあり方について意見交換したりしました。徐々に、地域に開かれたブラジル学校へと変貌しています。

官民連携による多言語 相談窓口体制強化事業

県内の多言語相談体制の強化を目的に、行政や国際交流協会、NPO等との連携強化や人材育成を行う。(トヨタ財団事業)



【期間】

2022年5月1日～2024年4月30日(2か年)

【内容】

1. 相談窓口の相談員を対象にした研修の実態調査の実施
→ 自治体の福祉担当課・社会福祉協議会等にアンケート調査を実施(8月頃公開予定)
2. 初任者相談員向けの研修カリキュラム及び教材の開発と研修の実施
3. 段階的な研修プログラム体系の構築
→ ①オンデマンド研修 4/10～、②オンライン研修 4/16、18、③対面研修 5/14、23
4. 海外における多言語相談窓口の運営と役割、他分野との連携のあり方等に関する調査
→ '22/11/14～19@メルボルン(CLAIR 豪州多文化主義政策交流プログラム)
5. 成果報告会の実施
→ 2024年2月頃開催予定



海外調査報告書



【受講者の感想】

多くのことを手探りでやっている状況です。相談対応における内部のルールや方針を作ることが大変勉強になりました。

今年の4月から通訳として勤務し始めたばかりですが、今回学んだことは困った時や上手いかなかったときの道しるべになると感じました。ありがとうございました。

テーマは「福祉関係相談窓口との連携」と「研修プログラムの精緻化」。プロジェクトメンバーも調査チームと研修チームに分かれ、議論を重ねました。県内福祉関係相談窓口の実態調査では、様々な気づきがあり、多言語相談窓口との連携の可能性を探っているところです。研修事業では、去年のプログラムをふりかえり、より参加しやすい充実した企画に練りこみつつ、新たに福祉関係相談窓口の相談員の方にもご参加いただきました。今後も、実践とふりかえりを繰り返しながら、相談事業のあり方を追求していきます。



栗木梨衣

外国人コミュニティ サポート事業

東海地域で活動する外国人コミュニティ等による活動をサポートする。



【主な支援先】

NPO法人日本ウクライナ文化協会(JUCA)
→ウクライナ避難民等への生活物資提供等

NPO法人希望の光(ブラジル)
→助成金申請、アドボカシー

NPO法人Ayudame a Ayudar(ペルー)
→組織運営相談、助成金申請

その他
→アフガニスタン避難民等への生活物資提供



新たにNPO法人となった外国人コミュニティや、これまで収益事業を行なってこなかった団体から、活動資金の獲得等に関するご相談が寄せられています。生活情報などが多言語されるようになった現在においても、各種助成金の情報収集や申請書類の作成等は、決して易しくはない日本語での対応が求められます。外国人コミュニティが地域で活躍できる環境づくりの必要性を強く感じます。

土井佳彦

情報発信及び ネットワーキング

多文化共生に関する情報を不特定多数の人に発信し、日常における多文化共生の認知度・理解度を高める。新型コロナ関連情報も多数。



特定非営利活動法人 **多文化共生リソースセンター東海**
 国籍や文化に関係なく、みんなが安心して楽しく暮らせる社会にしたい

- ホーム
- 団体概要
- About us
- 活動実績
- 成果物等
- 講師派遣
- 会報誌
- メディア掲載
- サポーター募集
- お問合せ

多文化共生
 NPO法人多文化共生リソースセンター東海
 多文化共生分野の中間支援NPOです。 <http://mrc-1.blogspot.com/>
 3 フォロワー 47 フォロワー
 フォロワー中

帰国困難者支援活動
 NPO法人多文化共生リソースセンター東海 23年
 新型コロナウイルスの影響を受け、2020年6月から2022年3月までの2年間に名古屋山崎町で行った帰国困難者の支援活動についてまとめました。

ホーム 記事 マガジン スキ プロフィール 仕事依頼 月別

サポーター(会員)の募集について
 当団体の活動趣旨に賛同し、応援して下さるサポーター(会員)を随時募集しています。下記の用紙に必要事...

2023年5月の活動報告
 2023年4月の活動報告
 2023年3月の活動報告

【ホームページ】
 ・閲覧数 約13,100pv

【facebookページ】
 ・いいね! 3,241件(+100)
 ・フォロワー 3,332人(+116)
 ・リーチ数 4,349人/日平均

【ブログ】
 ・投稿数 22件
 ・閲覧数 6,215pv



あいち・なごや
ウクライナ避難者支援ネットワーク

ホーム ネットワークについて 活動内容 資料 避難された方へ 支援したい方へ

Переселенцям з України.
ウクライナから避難された方へ

支援したい方へ
for Supporter

活動報告 Activity

ビーツ収穫
一般社団法人willが栽培したビーツを収穫させていただきました

ウクライナ女子レスリング選手団 公開練習 見学
2022年2月の優待以来、国

在留資格の更新手続きのサポートをしています
2022年2月24日、ロシアに



土井佳彦

今年度も多くの方に当団体から発する情報等をご覧いただけたようで嬉しく思います。得られた情報が少しでもみなさんの活動に生かされたなら幸いです。また、「あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク」も発足から1年が経ちました。こんなにも長引くとは思っていませんでしたが、公的支援が先細っていく中、民間に支援を求める声は高まっています。アフガニスタンやミャンマーからの避難者も含めて支援の輪を広げていきたいと思ひます。

その他の取組

多言語通訳・翻訳コーディネート、先進事例視察
コーディネート、多文化共生に関するアンケート調
査等、その他目的達成に必要な事業



移民政策学会 社会連携委員会 2023年度 年次大会

〈フィールドスタディ in 新宿〉

【日時】

2023年5月26日(金)

【訪問先】

- ・しんじゅく多文化共生プラザ
- ・アジア福祉教育財団難民事業本部
- ・ミャンマー料理店「ルビー」



日建建設 中堅研修2022

〈フィールドワーク in 浜松〉

【日時】

2023年7月21日(木)

【訪問先】

- ・セルヴィッツ
- ・ソミック石川
- ・浜松国際交流協会

今年度、明治大学(東京)で開催された移民政策学会では、新宿区でフィールドワークを実施しました。国内外から参加された20名の研究者・実践者のみなさんと現場を視察し、関係者と大変有意義な意見交換ができたことを嬉しく思います。

また、久しぶりに企業の社員向けのフィールドワークをご依頼いただき、外国人労働者の受け入れにおいて先進的な取り組みをされている浜松市内の企業や支援団体を訪問しました。外国人従業員・住民の方々とも率直な話し合いができ、勉強になりました。



土井佳彦